

# やなかわ

## 5月1日

### 今号の内容

- ◆團伊玖磨記念「筑後川」IN 柳川 2011 2～3
- ◆柳川ブランド「モニタリング商品」募集など 4～5
- ◆県知事・県議会議員一般選挙結果 5
- ◆悪質商法にだまされないで 6
- ◆行政区長が交代、市有地売却 7
- ◆市民のひろば(8-9) ◆川柳(9) ◆図書館・水の郷 ニュース、柳川百選まち歩き(10-11) ◆情報わいど(12-18) ◆柳川にこの人あり 大淵みどりさん(18)
- ◆もちふみデビュー(19) ◆保健ガイド(20-21) ◆新市史抄片(22)



## 右手をあげて安全確認 「右」「左」「右」

新学期に入り、市内の各小学校で交通安全教室が行われました。昭代第一小学校では4月18日に運動場で実施。柳川警察署と市交通安全協会田協分会の指導のもと、1年生は正しい道の歩き方を、3年生は自転車の乗り方を学びました。交通事故にあわないように前を向いて姿勢よく横断歩道を渡るように指導を受けた1年生42人は、信号機が青になると左右の安全を確認し、しっかり右手をあげて横断歩道を渡りました。

## 新 市史抄片 柳川藩の長崎屋敷

74

■ 問い合わせ 市生涯学習課市史編さん係 ☎72・1275



▲長崎市申図(黄色で囲った部分が柳川藩の長崎屋敷)



▲柳川藩の長崎屋敷があった五島町公園

江戸時代、諸藩が領国以外に江戸屋敷と大坂蔵屋敷を有していたことはよく知られています。柳川藩はこれのほかに長崎にも屋敷を有していました。

柳川藩のほかにも、福岡藩、佐賀藩、対馬藩、熊本藩、小倉藩、平戸藩、薩摩藩、萩藩、久留米藩、島原藩、唐津藩、大村藩、福江藩が長崎屋敷を有していました。この長崎屋敷には、各藩の長崎聞役(柳川藩では長崎外聞役)という役人が詰めて

いて、幕府の長崎奉行の指示を国元に伝達することを主な業務としていました。

この長崎聞役の成立は、正保四年(一六四七)のポルトガル船長崎来航が契機とされています。その際には、寛永十九年(一六四二)に断交したポルトガルの船から長崎を防衛するため、福岡藩、佐賀藩などともに柳川藩も軍勢を派遣しました。実際に戦火を交えることはありませんでしたが、この事件の後、先に挙げた

各藩が長崎防衛に即応の体制を取れるよう長崎屋敷に長崎聞役を置いたのでした。

柳川藩の長崎外聞役は常駐ではなく、五月中旬から九月下旬まで、つまりオランダ船が来航する時期のみ駐在しました。このような体制を「夏詰」と称し、薩摩藩、萩藩、久留米藩、島原藩、唐津藩、大村藩、福江藩が同様の体制でした。これに対し、福岡藩、佐賀藩、対馬藩、熊本藩、小倉藩、平戸藩は、長崎聞役を常駐させる「定詰」と称する体制をとっていました。

柳川藩の長崎屋敷は、元禄期(一六八八〜一七〇四)ころには万屋町(現長崎市万屋町)にあったようですが、享和二年(一八〇二)の長崎市中絵図には浦五島町(現長崎市五島町)に柳川藩の屋敷が描かれているので、これ以前に浦五島町へ移っていたことがわかります。この浦五島町の柳川藩長崎屋敷の場所は、現在のJR長崎駅のほど近くにある五島町公園がその跡地にあたります。

市史編さん係 白石直樹

## 人のうごき

- 人口 71,816人(前月比-202)
- 男 34,006人(-128)
- 女 37,810人(-74)
- 出生 51人、死亡 75人
- 転入 283人、転出 461人
- 世帯数 24,476世帯(20)

平成23年3月末現在

●御花で「筑後川」の合唱があった日、うかつにも取材ノートを落した。スポンの後ろポケットに入れて、走り回ったのが悪かった。次の朝、あきらめ半分御花に電話すると、拾われて保管されているとのこと。人の親切が身にしみた。この場を借りて「ありがと」ございました。

●毎朝、3月まで見かけなかった新1年生とよくすれ違ふ。制服にも学校にもまだ慣れていないような初々しさが感じられてほほえましい。わが子も4月でランドセルを背負うようになった。たくさん友だちをつくらせて、大きく成長してほしいものである。つて親八力になったなあ。(賢治)

●皆さん初めまして。4月より市役所に採用され広報担当になりました徳永和久です。同期に徳永は3人いますのでご注意ください。同期と共に若い力で故郷柳川を盛り上げたいと思います。また私の記事は少ないですが早く多くの記事を任せてもらえるように頑張ります！(和久)

## 編集後記